

きゅうしゅう

No.39



写真提供：航空自衛隊西部航空方面隊司令部



目次 CONTENTS

1. 部隊紹介

陸上自衛隊 対馬駐屯地

航空自衛隊 海栗島分屯基地

2. 自治体紹介～長崎県対馬市～

3. 業務紹介 企画部周辺環境整備課

4. インフォメーション

(表紙について)

6月26日(月)航空自衛隊は、北熊本駐屯地において地对空誘導弾PAC-3の機動展開訓練を報道公開しました。本訓練は、我が国の安全保障環境が厳しさを増す中、ミサイル対処に係る戦術技量の向上を図ることを目的としています。

九州防衛局 Kyushu Defense Bureau



<http://www.mod.go.jp/rdb/kyushu/>

編集・発行

九州防衛局 総務部

福岡市博多区博多駅東2丁目10-7 福岡第2合同庁舎

TEL092-483-8811



1. 部隊紹介

陸上自衛隊
対馬駐屯地

対馬警備隊



九州防衛局広報「きゅうしゅう」をご愛読の皆様、対馬警備隊長兼ねて対馬駐屯地司令の大倉正義です。日頃からの陸上自衛隊に対するご理解とご協力に深く感謝申し上げます。

さて、対馬駐屯地の所在する対馬は古代から、大陸との文化・経済の接点、そして国土防衛の最前線として、重要な役割を担ってきました。現在も島内各所に城跡や砲台跡等の史跡が遺り、当時の様子を彷彿とさせます。

対馬駐屯地は、明治19年（1886年）に対馬藩宗家の棧原城跡に帝国陸軍対馬警備隊が発足し、戦後一時、米軍が駐留した時期もありましたが、昭和37年（1962年）に別府の第41普通科連隊第4中隊が移駐し、対馬分屯地が開設され、昭和55年（1980年）には、対馬警備隊の新編に伴い、対馬駐屯地に格上げされました。

現在は、第436会計隊、第304基地通信中隊対馬派遣隊、第134地区警務隊対馬連絡班と一致団結するとともに、在島海上・航空自衛隊と緊密に連携しつつ、国境離島を防衛・警備する最前線部隊としての矜持を持ち、日本海の防波堤となるべく日夜厳しい訓練に励んでいます。

◆ 統率方針 ◆
「常在戦場」
★ 要望事項 ★
「挑戦」、「一致団結」



対馬市（豊玉町）

市街地戦闘訓練



中距離多目的誘導弾（鹿児島・佐多）

対舟艇射撃訓練

各種訓練



対馬市（白嶽山）

行方不明者救助



阿蘇市（一の宮小中学校）

入浴支援（熊本）

災害派遣



厳原中学校・久田中学校

職場体験学習



金石城跡石垣清掃

地域奉仕活動

地域活動

部隊紹介

航空自衛隊海栗島分屯基地



第19警戒隊長
兼 海栗島分屯基地司令
2等空佐 高橋 直之
(たかはし なおゆき)

九州防衛局広報誌「きゅうしゅう」をご覧の皆様こんにちは。第19警戒隊長兼海栗島分屯基地司令の高橋です。

海栗島分屯基地は、我が国で最北西端に位置するレーダー基地であり、韓国釜山から約50kmに所在する部隊であります。昭和31年に航空自衛隊の部隊が、ここ海栗島に展開して以降60年、「日本最北西端の防人」としての気概を持って、レーダーによる航空警戒監視の任務を遂行しております。

当分屯基地では、基地開庁記念行事のほか、地元で実施されます学校行事や各種イベント等に参加し、各隊員自身も楽しみながら、地域の皆様との交流を深めさせていただいております。

今後も分屯基地創立以来ご支援いただいている地域の皆様との絆をより強固にしつつ、日本の北西端の空を監視する部隊として、より精強な部隊となるための努力を継続していきたいと思っておりますので、「きゅうしゅう」をご覧の皆様におかれましても、引き続き部隊へのご理解ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



部隊のマークにもなっている
対馬に自生する「ひとつばたご」
(国の天然記念物)



平成28年度に移転した新庁舎



対馬本島から望む海栗島分屯基地と韓国の灯り

2. 自治体紹介

国境の島

長崎県 対馬市



対馬市長 比田勝 尚喜
(ひたかつ なおき)

自衛隊と対馬市「共に歩む」

本市は、西に朝鮮半島、東に九州を臨む国際海峡の中間にあり、九州本土まで138kmに対し、隣国韓国まで僅か49.5kmの距離にある国境の島であります。

また、古来から大陸との交易・交流において、重要な窓口であると同時に、防人の時代から国防最前線の役割を担ってきました。

現在も国防の要衝であり「陸上自衛隊対馬駐屯地」「海上自衛隊対馬防備隊」及び「航空自衛隊第19警戒隊」がそれぞれ配備され、重要な任務を果たされております。

更に、大規模断水時での給水支援、山岳遭難者の捜索から各種イベントへの協力など、様々な場面で大きく貢献いただいております。地域住民とも密接で良好な関係を築かれております。

これからも自衛隊の皆様と連携を図り、国境の島である本市の国家的役割の維持・強化と安全安心なまちづくりを進めてまいります。



市長の比田勝です。

ここでは「！」となる**対馬**の**魅力**を紹介します。

おっ つしま
！な島です。**対馬**



おっ
見て！

おっ
食べて！



山肌を白く染める
ヒトツバタゴ自生地



日韓友好の架け橋
朝鮮通信使行列(再現イベント)



竜宮伝説が残る古社 和多都美神社



対馬が誇るブランド魚の一つ
「紅腫」(のどぐろ)



肉厚で風味豊かな
対馬の原木しいたけ



江戸時代から続く
対馬の銘菓 かすまき



対馬のご当地グルメ とんちゃん
(焼き肉用味付け豚肉)

おっ おっ
体験して！ (歴史を) 感じて！

おっ
稀に！！



対馬の雄大な自然を形成する
浅茅湾でのシーカヤック



宗家の歴史が刻まれる国指定史跡
万松院(日本三大墓地)



希少生物

(写真：川口 誠)

国の天然記念物 ツシマヤマネコ
(環境省レッドリスト 絶滅危惧IA類)

対馬市HP・対馬観光物産協会HP・対馬市観光案内アプリ



対馬市



対馬観光物産協会



観光案内アプリ

3. 業務紹介

企画部周辺環境整備課の業務

概要

◆ 周辺環境整備課においては、防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律(以下、「環境整備法」という。)に基づき、自衛隊等の行為又は防衛施設の設置・運用により生ずる障害の防止等を図るため、防衛施設の周辺地域における生活環境等の整備について地方公共団体等が必要な措置を行うときに、かかる費用を助成する業務を行っています。

また、駐留軍等の再編の円滑な実施に関する特別措置法(以下、「再編特措法」という。)等に基づき、駐留軍等の再編の円滑かつ確実な実施を図るため、関連防衛施設の周辺地域における住民の生活の安定に及ぼす影響が増加する市町村に対し、住民の生活の利便性の向上等に役立つ事業に充てることができる、再編交付金及び再編関連訓練移転等交付金を交付する業務を行っています。

施策の内容

- ◆ (障害防止工事の助成)
環境整備法第3条第1項の規定による措置に関すること。
- ◆ (民生安定施設の助成)
環境整備法第8条の規定による措置に関すること。(音響に起因するものを除く。)
- ◆ (特定防衛施設周辺整備調整交付金の交付)
環境整備法第9条第2項の規定による措置に関すること。
- ◆ (再編交付金の交付)
再編措置法第6条規定による措置に関すること。
- ◆ (再編関連訓練移転等交付金の交付)
再編関連訓練移転等交付金交付要綱による措置に関すること。



障害防止工事(農業用施設)



障害防止工事(道路改修)



民生安定施設(農業用施設)



調整交付金(消防に関する施設)



障害防止工事(河川改修)



民生安定施設(道路改修)



民生安定施設(無線放送施設)



再編交付金(医療の確保に関する事業)



4. インフォメーション

三貝 哲 九州防衛局長着任ご挨拶

九州防衛局広報誌「きゅうしゅう」をご覧頂き有り難うございます。

8月1日付で九州防衛局長を拝命致しました三貝哲（みかいさとし）と申します。

我が国を取り巻く安全保障環境が厳しさを増す中で、重要性を増す九州地方の防衛行政の拠点となる九州防衛局長という重責を拝命し、非常に身の引き締まる思いです。また、古来より大陸の窓口であり、長い歴史と古き良き伝統を有する九州に赴任できたことは、大変な喜びであり、この地において、おいしい食や素晴らしい歴史に触れることを楽しみにしています。

この九州は、西の防衛の拠点として従来から多くの防衛施設が所在しておりますが、国民の生命・財産・領土・領海・領空をしっかりと守るため、防衛計画の大綱や中期防衛力整備計画に基づいて、新たな施設の整備や部隊の配備をお願いさせて頂いております。これらの防衛施設が安定的に使用できていることは、近隣の皆様や地方公共団体の方々のご理解とご協力があるからこそのものであり、この場をお借りして感謝申し上げます。また、新たな配備等につきましては、地元の皆様のご理解が得られますよう、丁寧な説明に努めて参りたいと存じますので、よろしくお願い申し上げます。

今後も、九州防衛局としては、地域と防衛省・自衛隊の架け橋として、また一義的かつ総合的な窓口として、地域住民の皆様と地方公共団体等の方々により一層のご理解とご協力を頂けるよう、全力で取り組んで参ります。

そのため、防衛施設の安定的な使用にかかる各種施策以外にも、防衛省・自衛隊の施策や活動について、広く地域の皆様にご理解頂くため、防衛白書の説明、日米交流事業、防衛問題セミナーや自衛隊の活動などの写真パネル展なども行って参ります。

今後とも、皆様方のご支援、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

『防衛省車座ふるさとトーク in 熊本市』開催

平成29年6月4日（日）、防衛省が主催する車座ふるさとトークが熊本市城彩苑で開催され、小林防衛大臣政務官と大学生を含む地元の方々8名と「自衛隊と地域社会との信頼醸成～熊本地震の対応を中心に～」のテーマに沿って自由闊達な意見交換を行いました。

小林防衛大臣政務官は、熊本地震での自衛隊の活動についてパネル等により説明し、防衛省がPFI方式により契約している民間船舶「はくおう」をお風呂や宿泊施設として提供し、自衛隊による演奏会を行ったことについても紹介しました。

参加者からは、自衛隊の災害派遣活動に感謝するとの意見が寄せられました。一方、災害時の情報発信に関して、SNSやホームページでの発信に加え、高齢者などに対する紙媒体での情報提供も重要であるとの意見もありました。



▲小林防衛大臣政務官と参加者全員による記念撮影

新型護衛艦「あさひ」海上公試始まる～長崎防衛支局～

平成29年7月5日（水）、新型護衛艦「あさひ」の第1回海上公試が開始されました。当初は前日開始の予定でしたが、台風3号の影響により一日遅れのスタートとなりました。

海上公試は、建造された艦船を海上で実際に運航し、要求通りの機能・性能が発揮できるかを確認するために、建造所から防衛省への引き渡し前に実施される試験です。

新型護衛艦「あさひ」の海上公試は、平成29年7月5日から翌30年3月まで、計35回に亘り実施される予定であり、第1回（7月5日実施）と第2回（7月6日実施）は帰港することなく連続して行いました。

海上公試の試験項目は多岐にわたり、今回は主として機関部についての項目（全速力での航走や後進の際の影響確認、船体動揺時の影響確認など）を実施しました。

今年度末の建造所からの引き渡しに向けていよいよ最終コーナーに差し掛かったといった状況です。長崎防衛支局としては、引き続き監督・検査を通して、新型護衛艦「あさひ」が見事ゴールテープを切ることが出来るよう務めて参ります。



▲新型護衛艦「あさひ」（後）海上公試に臨む検査官



▲甲板上で試験状況を確認する検査官（灰色作業服）



▲試験状況の説明を受ける検査官



▲試験後の報告会（左手前側が検査官）

感謝状贈呈～在日米海軍佐世保基地司令官 オヴィアス大佐

在日米海軍佐世保基地司令官オヴィアス大佐の離任に当たり、同氏の在任中の功績に謝意を表するため、7月10日（月）川崎九州防衛局長から感謝状を贈呈しました。オヴィアス大佐は、平成26年7月に佐世保基地司令官に着任以来、佐世保地区所在の米軍施設に関連する諸問題の解決に尽力されました。

特に、米海軍崎辺海軍補助施設の返還については、日米合同委員会において早期に承認されるよう努力されました。

また、熊本地震に際しては、いち早く震災に対する声明を発表し、佐世保を母港とするボノムリシャル乗組員を八代港に展開した「ひゅうが」へ派遣するとともに、航空機による被災地支援を行うにあたってはその中継基地として赤崎貯油を提供するなど迅速な対応を指揮し、各種支援に尽力されました。

後任のストーリングス大佐との司令官交代式は7月14日に行われました。

オヴィアス大佐は離任後、イラク・バクダットにて勤務されるとのことです。▲川崎（前）九州防衛局長とオヴィアス大佐



平成29年度優秀工事等顕彰状授与式

(本局)

平成29年7月6日、九州防衛局において、平成28年度に完成した工事等の中から選ばれた8社と技術者1名に対し、本田調達部長から顕彰状が授与されました。

これは当局が発注する建設工事や設計業務のうち他の模範とするにふさわしい優れた施工や業務を行った方に対し、防衛施設の建設工事におけるさらなる技術力の向上や受注意欲を高めることを目的として授与されるものです。今回顕彰された工事は、厳しい施工条件やユーザーからの様々なニーズに対し、丁寧かつ前向きに対応し優れた出来形を納めていただいたもので、まさに顕彰の目的にふさわしいものでした。

これを機会に多くの方々に防衛施設の建設工事に興味を持っていただき、幅広く入札に参加していただけることを期待しております。

【顕彰状授与会社等】

株式会社堀村組及び技術者 横瀬野油所(25) 防災施設新設建築追加工事
 浅海電気株式会社九州支店 横瀬野油所(25) 防災施設新設電気その他工事
 株木建設株式会社九州支店 鳥栖(25) 燃料施設整備土木工事
 九特興業株式会社 飯塚(27) 訓練施設整備土木その他工事
 株式会社サカヒラ 鳥栖(27) 燃料施設整備土木その他工事
 日本地研株式会社 針尾島(26) 土質調査
 株式会社泉創建エンジニアリング 崎辺(27) 体育館等新設建築設計
 株式会社協和設計事務所沖繩事務所 崎辺(27) 庁舎等新設建築設計



▲九州防衛局による記念撮影

(前列左から)

浅海電気株式会社九州支店・株式会社堀村組・株木建設株式会社九州支店
 九特興業株式会社・株式会社サカヒラ

(後列左から)

日本地研株式会社・株式会社泉創建エンジニアリング・
 株式会社協和設計事務所沖繩事務所

(熊本支局)

平成29年7月7日、熊本防衛支局において、平成28年度に完成した工事等の中から優秀工事として選定された工事の受注3者に対し、増田支局長から顕彰状が手渡されました。

本顕彰制度は、当支局が発注する建設工事等のうち、困難な条件下にもかかわらず工程管理や安全管理に優れたもの等で、他の模範とするにふさわしい工事等を優秀工事等として顕彰するものです。

本制度は平成21年度から実施しているものですが、今後とも、入札参加者の受注意欲の向上、工事目的物の品質確保を図り施設取得の円滑な推進に資するものにして考えています。

【顕彰状授与会社】

株式会社峰山建設 喜界島(27) 法面整備工事
 株式会社辻組 北熊本(27) 保管庫新設土木工事
 株式会社宇都電設 鹿屋(27) 発電機室新設等電気その他工事



▲熊本支局による記念撮影

左：株式会社峰山建設、中：株式会社辻組、右：株式会社宇都電設

三貝 哲 九州防衛局長着任式

平成29年8月1日付け人事異動により、三貝防衛省整備計画局防衛計画課長が九州防衛局長を命じられ、8月2日(火)着任式が行われました。

三貝局長は、着任式で「昨今の我が国周辺の安全保障関係、特に東シナ海の情勢については非常に厳しい状況に置かれており、そのため九州防衛局は、新設部隊の配備計画等これまでにない業務が多々あると承知しております。限られた人数の中で、そういった多くの懸案を処理していくのは非常に大変であり、職員の皆さんへの負担も大きいと思います。このような状況ではありますが、職員の皆さんには特にメンタルヘルスに気をつけて頂き、つらいときは上司や同僚に相談したりして、心と体の健康に十分留意しながら、局職員が一丸となって業務に取り組んでいただきたいと思います。」と職員を前に着任の挨拶を行いました。

三貝局長は、平成元年4月、当時の防衛庁に奉職以来、教育訓練局、外務省、人事教育局、管理局、陸自中部方面総監部、近畿中部防衛局、防衛政策局、長官官房、内閣官房、整備計画局において様々な職務を歴任し、今回、九州防衛局長に転任したものです。



▲三貝局長着任式での挨拶

日本の「アメリカ」佐世保の米軍基地で働きませんか！

在日米軍従業員募集



日本の「アメリカ」で 働きませんか

独立行政法人 駐留軍等労働者労務管理機構【エルモ】では、在日米軍基地で勤務する従業員の募集を行っています。エルモ佐世保支部では、主に米海軍佐世保基地に勤務する従業員の募集活動を行っています。

●在日米軍従業員の位置付け

在日米軍従業員は、国（防衛大臣）に雇用されますが、使用者は在日米軍となっています。そのため、祝日は米国のものが適用になりますが、社会保険、労災などは日本の制度が適用になります。（身分は国家公務員ではありません。）

●主な職種

職種は多岐にわたっており、要求される英語能力は異なります（英語能力が求められない職種もあります）。

職種の選び方	職種	業務内容
英語ができる！ 資格を持っている！ 経験がある！	事務・技術関係	庶務、会計、通訳、建築、土木、機械など
	技能・労務関係	補修、点検、運転、清掃、販売、ウェ이터・ウェイトレスなど
体力に自信がある！	警備・消防関係	警備員、消防員など

その他、医療・看護関係の職種やパートタイムもあります。

詳細な情報や応募方法については、パソコン、スマホからLMOで検索。または、右記へお問い合わせ下さい。

【お問合せ】

独立行政法人 駐留軍等労働者労務管理機構【エルモ】
佐世保支部管理課管理係

住所：佐世保市平瀬町3-1

電話：0956-23-7191



九州防衛局では不測の事態に対応するため、夜間・休日を問わず連絡体制を確保しております。

夜間及び休日の連絡先

電話：(092)483-8832 FAX：(092)472-1959

平日は17時15分から翌朝8時30分まで、
休日は無休。